

令和5年度

事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1. 概況

令和2年4月1日より新たな組織として「公益社団法人 北海道農産基金協会」が発足し4年が経過しました。

本年度につきましては、コロナ禍の影響があった前年までと変わり、主たる各事業については事業計画に従い取り進めることができました。

各種会議・出張用務も予定どおり行ない、初めて平常な年度となりました。

○気象経過・生育状況等

5月、6月とも平均気温は平年より高く、日照時間も多く降水量は5月は少なかったものの6月に入り平年を上回ったため、総じて各品目の初期生育は順調でした。

7月に入り、気温は平年より高く、降水量は平年並み、日照時間は平年より多く、各品目の生育は平年より早く推移しました。

8月に入り、気温は平年よりかなり高い猛暑となり、降水量、日照時間は平年並みで、生育は全般に平年より早く進み、9月に入っても、気温は平年よりかなり高く、降水量は少なく、日照時間もかなり多く、作物によって収穫作業などは平年並みから早く進みました。

しかしながら、猛暑の影響は、豆類の収穫遅れと品質低下、でん粉原料用馬鈴しょのライマン価低下など悪い影響を与えることとなりました。

○各品目の状況

(豆類関係)

豆類については、令和5年産の作付面積が大豆は45,300haで前年を2,100ha上回り、小豆は20,900haと前年から1,800ha増加しました。

菜豆類については、金時が3,930ha(前年比-230ha)、大手亡が1,270ha(前年比-50ha)となりました。

小豆は虫害の発生や、葉落ちが不良で収穫遅れとなり濃赤粒が発生していることから、品質はやや不良と見込まれます。

菜豆は一部地域で収穫期の断続的な降雨の影響により、臍周辺の着色不良や色流れ粒が発生していることから、品質はやや不良と見込まれます。

主な事業については、赤系金時の安定的な供給を通じて価格の安定に資するため、「赤系金時安定供給緊急対策事業」を実施しました。

また、小豆の安定供給に資するため、「小豆類生産安定運動推進事業」を実施しました。

(馬鈴しょ関係)

馬鈴しょについては、作付面積は48,500haと前年産並みとなりました。用途別には生食・加工用約59%、でん粉用約33%、種子用約8%となっております。

反収は平年を上回り、収穫量は1,930,000トン(前年比106%)でしたが、猛暑の影響ででん粉原料用馬鈴しょはライマン価が低下し、馬鈴しょでん粉については原料処理量736,818トン、生産量は148,000トンと近年にない少ない量を見込んでいます。

主な事業については、公募によるでん粉原料用馬鈴しょの品種改良や病虫害対策、栽培技術の開発に対する「研究助成事業」や、馬鈴しょ及び馬鈴しょでん粉の安定的生産に寄与するため、講習会(WEB)により各種情

報を発信するなどの「普及啓発事業」を実施しました。

(青果物関係)

野菜関係については、全般的に猛暑の影響を受け平年を下回る作柄となり、全国的にも作柄不良で露地野菜を中心に価格も高値で推移しました。根菜類は収量・品質は品目によりばらつきがみられ、玉ねぎは小玉傾向であるものの概ね平年並みの収量となりました。

また、加工・業務用野菜の生産基盤の強化に向け、道内における「大規模契約栽培産地育成強化事業」の事務支援を行っております。

果実関係については、近年、国産ワイン需要の高まりがあり、北海道でも新たな担い手による醸造用ぶどうの栽培が本格化しておりますが、当初予定面積を終了したことから「果樹経営支援対策事業」の助成額は減少しております。

2. 組織に関する事項

(1) 会員

区 分	前期末	加入	合併	令和6年3月末
正会員	109	0	1	108

(2) 預り基金

(単位:千円)

区 分	預り基金
北海道	1,345,000
その他自治体(9市)	46,000
農業協同組合(85JA)	3,000,095
農協連合会(4団体)	1,293,900
その他農業団体(9団体)	2,053,100
計	7,738,095

(3) 役員

区分	前期末	当期就任	当期退任	令和6年 3月末	定款に決める 役員の定数
理事	14	7	7	14	14名以上16名以内
監事	1	1	1	1	1名
合計	15	8	8	15	

役員名簿

役職名	氏 名	所属団体・役職名
理事長	樽 井 功	北海道農業協同組合中央会 代表理事会長
副理事長	橋 本 弘 幸	ホクレン農業協同組合連合会 代表理事副会長
専務理事	五 藤 一 彦	学識経験者
理 事	花 岡 弘 毅	北海道農政部生産振興局 農産振興課長
理 事	松 尾 元	公益財団法人日本豆類協会 常務理事

理事	八田 米造	ようてい農業協同組合 代表理事組合長
理事	高井 一英	とうや湖農業協同組合 代表理事組合長
理事	山本 博行	そらち南農業協同組合 代表理事組合長
理事	畑山 義裕	東旭川農業協同組合 代表理事組合長
理事	大坪 広則	きたみらい農業協同組合 代表理事組合長
理事	前川 厚司	幕別町農業協同組合 代表理事組合長
理事	飯島 浩	中標津町農業協同組合 代表理事組合長
理事	梶原 雅仁	豆の国十勝協同組合 理事長
理事	太田 孝夫	北のでんぷんを考える会 会長
監事	今村 隆徳	道央農業協同組合 代表理事組合長

(4) 会計監査人

氏名	所属
清平 秀幸	清平秀幸公認会計士事務所

(5) 業務評価委員会

業務評価委員（豆類）名簿

氏名	所属・職名
高野 浩文	公益財団法人日本豆類協会 事務局長
矢花 修	北海道農政部生産振興局農産振興課課長補佐
鈴木 剛	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部十勝農業試験場 研究部長
沖崎 慎	北海道農業協同組合中央会 農政対策部米穀農産課長
長谷川 幸男	ホクレン農業協同組合連合会 農産事業本部農産部長
前田 英典	女満別町農業協同組合 参事
市村 誠	本別町農業協同組合 農産部長
西谷 洋人	芽室町農業協同組合 農産部長

業務評価委員（馬鈴しょ）名簿

氏名	所属・職名
今井 慎	北海道農政部生産振興局農産振興課 畑作グループ主幹
沖崎 慎	北海道農業協同組合中央会 農政対策部米穀農産課長
長谷川 幸男	ホクレン農業協同組合連合会 農産事業本部農産部長
植田 裕	ホクレン農業協同組合連合会 種苗園芸部種苗課技師

平 崎 陽 一	浦幌町農業協同組合 営農販売部長
下 山 修 治	小清水町農業協同組合 販売部長

(6) 職員

区分	前期末	当期増加	当期減少	令和6年3月末
一般職員	11	1	3	9

3. 管理及び運営に関する事項

(1) 総会

① 令和5年度通常総会

- ア 開催日 令和5年6月21日(水) 14時
- イ 開催場所 ANAクラウンプラザホテル札幌 24階「白楊」
- ウ 会員数及び出席者数

正会員数 109

総会出席者数 94

(本人出席18、委任状11、議決権行使書65)

エ 議決事項

- 第1号議案 令和4年度事業報告書並びに計算書類について
- 第2号議案 任期満了に伴う役員を選任について
- 第3号議案 令和5年度役員報酬について

(2) 理事会

① 第1回理事会 令和5年5月25日(木)

ア 議案

第1号議案 令和4年度事業報告書並びに計算書類(案)について

第2号議案 任期満了に伴う役員を選任について

- 第 3 号議案 令和 5 年度役員報酬について
- 第 4 号議案 令和 5 年度通常総会の開催について
- 第 5 号議案 令和 5 年度会計監査人の報酬について
- 第 6 号議案 令和 5 年度小豆類生産安定運動推進事業の実施について
- 第 7 号議案 果樹関係業務方法書の一部改正について
- 第 8 号議案 準備金の取崩しについて

② 第 2 回理事会 令和 5 年 6 月 2 1 日（水）

ア 議 案

- 第 1 号議案 理事長、副理事長、専務理事の選定について
- 第 2 号議案 資産運用執行責任者の任命について

③ 第 3 回理事会 令和 5 年 1 0 月 2 3 日（月）

ア 議 案

- 第 1 号議案 令和 5 年産対象豆類の基準価格並びに価格差補てん対象数量について
- 第 2 号議案 令和 5 年産事業対象馬鈴しょでん粉調整販売計画について
- 第 3 号議案 事務規程ならびに給与規程の一部改正について
- 第 4 号議案 役員賠償責任保険契約の更新について

イ 報告事項

- 報告事項 1 号 令和 5 年度上半期事業報告並びに収支報告について
- 同 監査報告について
- 報告事項 2 号 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
- 報告事項 3 号 資産の運用状況と今後の取進めについて

④ 第 4 回理事会 令和 6 年 1 月 3 1 日（水）（書面決議）

ア 議 案

第1号議案 令和6年度馬鈴しょ安定供給緊急対策事業の実施
について

⑤ 第5回理事会 令和6年3月21日（木）

ア 議案

第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 赤系金時安定供給緊急対策事業の実施について

第3号議案 規程等の一部改正について

イ 報告事項

報告事項1号 資産の運用状況と今後の取進めについて

報告事項2号 令和6年度事業に係る公募結果について

報告事項3号 令和6年度馬鈴しょ安定供給緊急対策事業につ
いて

(3) 監事監査

第1回監事監査 令和5年5月25日（木）

議 題 令和4年度公益社団法人北海道農産基金協会の決算等
について

第2回監事監査 令和5年10月23日（月）

議 題 令和5年度上半期事業報告並びに収支報告について

(4) 会計監査

第1回会計監査人監査 令和5年5月15日（月）

議 題 前事業年度会計監査について

第2回会計監査人監査 令和5年10月13日（金）

議 題 上半期財務諸表検証について

(5) 業務評価委員会

第1回業務評価委員会（豆類）

令和5年5月16日（火）

報告事項 1) 令和4年度赤系金時安定供給緊急対策事業実施報告について

審議事項 1) 令和4年度事業報告(案)について

第1回業務評価委員会（馬鈴しょ）

令和5年5月16日（火）

報告事項 1) 令和4年度 生産流通振興事業結果概要について

審議事項 1) 令和4年度 事業報告書（案）について

第2回業務評価委員会（豆類）

令和5年10月13日（金）

報告事項 1) 令和5年度事業報告（上半期）について

2) 令和5年産道産豆類の需給見込について

3) 令和5年度赤系金時安定供給緊急対策事業の取組状況等について

審議事項 1) 令和5年産対象豆類の基準価格（案）について

2) 令和5年産対象豆類の価格差補てん対象数量(案)について

第2回業務評価委員会（馬鈴しょ）

令和5年10月13日（金）

報告事項 1) 令和5年度 事業報告書（上期）

審議事項 1) 令和5年産事業対象馬鈴しょでん粉調整販売計画（案）について

その他 1) 第30回馬鈴しょ及びでん粉講習会の開催について

第3回業務評価委員会（馬鈴しょ） 書面開催

令和6年1月9日（火）

審議事項 1) 需給調整事業、事業項目追加について

第3回業務評価委員会（豆類）

令和6年3月13日（水）

報告事項 1) 令和5年産道産豆類の需給見込について

2) 令和6年度事業に係る公募結果について

審議事項 1) 令和6年度事業計画（案）について

2) 赤系金時安定供給緊急対策事業の実施について

第4回業務評価委員会（馬鈴しょ）

令和6年3月12日（火）

報告事項 1) 令和6年度事業に係る公募結果について

2) 令和6年度馬鈴しょ安定供給緊急対策事業について

3) 第30回馬鈴しょ及びでん粉講習会について

審議事項 1) 令和6年度事業計画（案）について

その他 1) 馬鈴しょでん粉をめぐる一般情勢等について

4. 事業に関する事項

(1) 豆類関係

① 豆類価格安定対策事業

ア 令和4年産豆類価格安定対策事業

令和4年産対象豆類に係る価格差補てん事業については、対象豆類の平均販売価格がいずれも補てん基準価格を上回ったため、発動はありませんでした。

(参考) 令和4年産対象豆類の販売状況

ホクレン農業協同組合連合会

品名	等級	項目	調整販売	
			数量・金額	摘要
大正金時	2等	販売計画 (俵)	91,952	
		販売実績 (俵)	91,952	
		販売金額(千円)	3,494,170	
		販売平均単価(円)	38,000	
		平均販売価格(円)	36,193円 <精算：令和5年9月30日> ★ 補てん基準価格 22,820円	
北海金時	2等	販売計画 (俵)	2,446	
		販売実績 (俵)	2,446	
		販売金額(千円)	94,171	
		販売平均単価(円)	38,500	
		平均販売価格(円)	36,612円 <精算：令和5年9月30日> ★ 補てん基準価格 22,820円	
大手亡	2等	販売計画 (俵)	35,969	
		販売実績 (俵)	35,969	
		販売金額(千円)	1,097,055	
		販売平均単価(円)	30,500	
		平均販売価格(円)	28,653円 <精算：令和5年9月30日> ★ 補てん基準価格 15,630円	

(注) 合計値と内訳は、ラウンドの関係で一致しない。

イ 令和5年産対象豆類の基準価格

令和5年産対象豆類の価格差補てん事業の基準価格については、令

和5年10月13日に開催された第2回業務評価委員会の意見を聴き、10月23日に開催された第3回理事会の議決を経て、10月25日に北海道知事の承認を受けたので、同日付けで次のとおり公告しました。

[基準価格]

項目 品目	規格 等級	単位 (kg)	場所	基準価格(円)		(参考) 基本価格 (円)
				補てん 基準価格	最低 基準価格	
金時	2等	60	産地倉庫	25,780	20,050	28,640
大手亡	同上	同上	同上	21,910	17,040	24,340

ウ 令和5年産対象豆類の対象数量

令和5年産対象豆類の対象数量については、令和5年10月13日に開催された第2回業務評価委員会の意見を聴き、10月23日に開催された第3回理事会の議決を経て、10月25日付けで、次のとおり定めました。

対象数量	121,533 俵
内訳	
大正金時	85,832 俵
北海金時	1,427 俵
大手亡	34,274 俵

エ 令和5年度赤系金時安定供給緊急対策事業

赤系金時の安定生産を通じて価格の安定を図るため、27集荷団体を經由して、922戸の生産者が約3,207haに播種した優良種子の代金の一部として助成金63,926千円を交付しました。

② 小豆類生産安定対策事業

道産小豆類を取り巻く環境は、生産者の作付け意欲が回復しない

状況の中、実需者は道産小豆への切替が進み、道産小豆の安定供給が求められていることから、小豆の作付指標面積を確保するため、令和5年度において「小豆類生産安定運動推進事業」を実施し、61集荷団体に対して、87,527千円を助成しました。

③ 豆類生産流通安定推進事業

ア この事業は、毎年恒常的に実施している業務を網羅した事業として設定しているもので、豆類需給安定会議を開催するための経費、豆類の生産目標に関する業務委託費及び豆類の生産・流通・消費動向の調査に関する業務委託費が含まれています。

イ 豆類需給安定会議については、一般社団法人全国豆類振興会及び北海道豆類振興会との共催により、昨年9月6日に十勝管内帯広市において、生産、流通、実需、試験研究、行政等の関係者約70人の参加を得て、「中国における雑豆事情」に関する基調講演の後、「海外の雑豆事情を踏まえた今後の対応について」をテーマとして、各業界の情勢報告を含めて意見交換を行いました。

ウ 豆類の生産目標面積に関する業務については、「豆類の生産目標面積設定に係る情報の収集及び当該面積の周知に関する業務」を北海道農業協同組合中央会に委託（委託費500千円）し、令和6年産雑豆に係る作付意向の把握、地域別生産目標面積の策定、当該面積の生産者への啓発に要する経費を委託費として支出しました。

エ 「豆類生産・流通・消費動向の調査に関する業務」については、ホクレン農業協同組合連合会に委託（委託費2,000千円）し、

道内における5年産の雑豆の生産（作付及び収穫）動向並びに全国主要消費地域における雑豆の消費動向に関する調査に要する費用を委託費として支出しました。

オ 生産目標面積の設定・周知

ウの委託調査を通じて得られた情報等を踏まえ、需要に即した計画的な雑豆の供給に資するため、令和5年12月26日付けで令和6年産の雑豆の生産目標面積を設定しました。

④ 豆類消費啓発助成等事業

ア 豆類消費啓発助成等事業及び⑤の豆類調査研究助成事業については、広く課題を募集し、公募事業等審査委員会において選定された課題について助成金を交付する方法により実施しています。

令和5年度の事業については、令和4年12月1日に当協会ホームページに公募要領を掲載し、令和5年1月30日に開催した審査委員会において実施課題が選定されました。

イ 豆類消費啓発助成等事業については、審査委員会において次の6課題が選定され、助成金（計11,337千円）を交付しました。

採 択 課 題 名	助成限度額 (千円)
北海道豆加工品フェア	2,105
食育＊雑豆教室&育てソダテ空まで届け！雑豆校内菜園	2,043
北海道小豆、いんげん豆うまいっしょフェア 2023	1,840
北海道の和菓子を食べようスタンプラリー2023	1,950
HBC ラジオパーソナリティー桜井宏のあんこ通信	2,200
もっと！あんこプロジェクト in シュガーセミナー 高校編	1,199

ウ 10月13日の「豆の日」の協賛行事である「北海道・豆トークショー2023」については、イベントの開催地域や内容、委託したい業務の内容を明示した上で、令和4年12月1日から当協会ホームページで「業務の実施補助」を行う業者を募集し、審査委員会において株式会社フラクタルが選定されました。当該業者とは、令和5年4月3日付けで委託契約（契約額1,650千円）を締結し、10月9日に北見市において開催しました。

⑤ 豆類調査研究助成事業

本事業については、審査委員会において次の2課題が新たに選定され、地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部中央農業試験場及び十勝農業試験場に助成金（計2,500千円）を交付しました。

採 択 課 題 名	助成限度額 (千円)
作物モデルを用いた小豆及び菜豆の作期の推定	1,500
DNA マーカーを利用した土壌病害抵抗性に優れる小豆品種の開発促進	1,000

また、前年度までに採択された次の3課題については、複数年度事業として選定された課題であり、地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部十勝農業試験場に助成金(計9,900千円)を交付しました。

継 続 課 題 名	助成限度額 (千円)
金時新品種の導入に向けた実規模栽培・加工適正実証試験	2,900
小豆の障害抵抗性に優れる品種開発促進	3,500
安定的多收を目指した菜豆新品種の開発強化	3,500

⑥ 豆類流通円滑化緊急対策事業

豆類の円滑な流通に重大な支障を生じる恐れのある事態が発生した場合に緊急的な対応を行うこととしていますが、本年度の発動はありませんでした。(予算額5千万円)

(2)馬鈴しょ関係

① 研究助成事業

馬鈴しょ及び馬鈴しょでん粉の生産や供給の安定確保に資するため、品種改良、病害虫対策、栽培技術開発、及び需給に係る調査研究等の課題について公募を行い、採択された課題に対して助成事業を行いました。

本年度は、12課題に対し26,515千円の助成金を交付しました。

令和5年度 生産流通振興事業 一覧表

区分	事業名	部署	事業費 (千円)
品種改良	ゲノム情報の活用による多収馬鈴しょ交配母本の選択と維持	中央農試	2,000
	馬鈴しょ疫病圃場抵抗性系統の選抜強化	北見農試	2,500
	でん粉原料用馬鈴しょにおける高品質でん粉系統の選抜強化	〃	2,500
	センチュウ類およびYウイルス抵抗性馬鈴しょ品種の開発強化と特性検定試験	〃	3,500
	早期収穫適性が優れるでん粉原料用馬鈴しょ多収品種の開発促進	〃	3,500
	新規遺伝資源に由来するでん粉原料用馬鈴しょの育成およびデンプン含量に関わるマーカーの開発	帯広畜産大学	3,795
	でん粉特性の優れたジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性でん粉原料用品種の開発	北農研	1,483
病害虫	日本未発生の馬鈴しょ寄生性線虫のでん粉原料用馬鈴しょ道内主要栽培品種に対する加害性の解明	農研機構 植物防疫部門	1,020
	アブラムシの捕獲個体数とウイルス保毒虫の有無に基づいたジャガイモYウイルスの感染リスク評価	北農研	1,000
	馬鈴しょのエンドファイトによるジャガイモ黒あし病発病抑制効果の評価	〃	1,000
	馬鈴しょ疫病の効率的な防除を目的とした疫病菌の動態調査と防除技術開発に関する試験研究	北海道大学大学院	2,217
栽培技術	でん粉原料用ばれいしょ新品種「コナヒメ」の安定生産のための栽培法の開発	十勝農試	2,000
	合 計		26,515

② 普及啓発事業

道内馬鈴しょ及び馬鈴しょでん粉の安定生産及び生産性向上に寄与するため、馬鈴しょ及びでん粉講習会の開催等によって、馬鈴しょの栽培技術・品種開発・流通動向等に係る各種情報の普及啓発を図りました。

ア. 第30回馬鈴しょ及びでん粉講習会（WEB）

（ア）昨年と同様に、講演映像を協会ホームページ経由で視聴する
WEBでの開催としました。（2/29～）

（イ）講演について

○馬鈴しょでん粉の情勢について

ホクレン農業協同組合連合会 農産事業本部農産部でん粉課

課長 野田 達也 氏

○でん粉原料用ばれいしょ新品種「コナヒメ」の安定性のための
栽培法の開発

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部

十勝農業試験場 研究部生産技術グループ 坂本 樹一朗 氏

○ジベレリンおよびジャスモン酸処理を組合わせたでん粉原料用
馬鈴しょの多収栽培技術の開発

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

北海道農業研究センタースマート畑作グループ

上級研究員 津田 昌吾 氏

（ウ）視聴集計結果について

3月末現在でアクセス総数495件、その主だった地域は日胆・

オホーツク・根釧及び十勝で約60%を占めていました。

視聴者の所属は「JAグループ・生産者・普及センター」が約65%を占めていました。

③ 需給調整事業

令和5年産においては、でん粉原料用馬鈴しょ面積は増加したものの、猛暑の影響を受けた地域も多くライマン価が全道的に低い傾向となりました。でん粉の需要はコロナ禍も落ち着きを見せ、人の流れが回復するにつれてでん粉需要も戻ってきておりますが、生産量減少により供給不足から出荷制限をしている状況であります。また、令和2年産以降の原料生産量が低水準で推移しているため、次期への繰り越し数量は適正数量を下回る見込みとなりました。

以上の結果、令和5年産でん粉の「調整保管事業」は発動しませんでした。

なお、来年度より「安定供給緊急対策事業」を実施する予定のため、「保管事業準備財産」を「需給調整事業準備財産」に名称変更しております。

(3) 青果物関係

① 野菜関係事業

ア 野菜価格安定対策事業(特定野菜等供給産地育成価格差補給事業)

(ア) 交付対象数量及び交付予約数量

交付対象数量については、特定野菜 4,054 t・指定野菜 105 t、合計では 4,159 t (前年対比 81%) となり、前年を下回る数量となりました。内訳としては、全ての対象野菜が減少しています。

※前年対比：夏はくさい (86%)、スイートコーン (30%)、ブロッコリー (72%)、かぼちゃ (81%)、ごぼう (82%)、やまのいも「長いも」(88%)

交付予約数量については、生産出荷団体からの申込数量に対して 70% (前年 80%) の出荷数量となりました。

単位：t. %

	5年度 A	4年度 B	3年度 C	対比	
				A/B	A/C
特定野菜	(5,725) 4,054	(6,240) 5,023	(6,210) 5,970	(92) 81	(92) 68
指定野菜	(190) 105	(190) 122	(200) 87	(100) 86	(95) 121
計	(5,915) 4,159	(6,430) 5,145	(6,410) 6,057	(92) 81	(92) 69

※ () 内は交付予約数量

(イ) 価格差補給金の造成額

事業資金造成額については、交付予約数量の減少などから前年を下回る 1 億 76 百万円 (前年比 94%) となりました。

単位：千円. %

	5年度 A	4年度 B	3年度 C	対比	
				A/B	A/C
特定野菜 (機構)	172,136 (74,543)	184,244 (79,751)	175,757 (75,350)	93 (93)	98 (99)
指定野菜 (機構)	4,099 (2,050)	4,099 (2,050)	4,094 (2,047)	100 (100)	100 (100)
計 (機構)	176,235 (76,593)	188,343 (81,801)	179,851 (77,397)	94 (94)	98 (99)

※ () 内は機構からの助成額で資金総額の内数

(ウ) 価格差補給資金の交付状況

野菜関係については、夏場の記録的な高温と干ばつによる生理障害から生育は緩慢となっています。また生育後期の集中した降雨の影響で病害・腐敗等の被害が発生し、規格品の歩留まりが低下した

ことから、平年を下回る作柄となっています。

市場では、猛暑による作柄不良で全般的に平年を上回る価格で推移しています。

このような状況の中、ごぼうの10～12月で5ブロック（関東・東海・近畿・中国・四国）の市場価格が低落したことから11,212千円（前年+5,564千円）の生産者補給金を交付しています。

(エ) 価格差補給資金の資金保有額

交付予約数量の減少及び補給金交付額が前年を上回ったことから、補給資金の期末保有額は前年を下回る1億65百万円（前年差-18百万円）となりました。

内訳としては、農畜産業振興機構が73百万円・農産基金協会（北海道、登録出荷団体）が92百万円となっています。

単位：千円、%

	5年度 A	4年度 B	3年度 C	対比	
				A/B	A/C
特定野菜 (機構)	160,924 (70,806)	178,599 (77,712)	155,657 (68,650)	90 (91)	103 (103)
指定野菜 (機構)	4,099 (2,050)	4,097 (2,048)	4,075 (2,037)	100 (100)	101 (101)
計 (機構)	165,023 (72,856)	182,696 (79,760)	159,732 (70,687)	90 (91)	103 (103)

※ () は機構からの助成額で資金総額の内数

イ 野菜価格安定対策事業（野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業）

指定野菜価格安定対策事業資金の都道府県負担分について、北海道から補助金として受領し、農畜産業振興機構に納付する事業となります。

指定野菜事業の対象となる交付予約数量は、602,347 t（前年618,628 t）で、補助金納付額は11,275千円（前年9,724千円）、債務負担行為額は7億76百万円（前年7億87百万円）となっています。

ウ 青果物生産出荷安定対策事業

北海道で生産される野菜の需要と供給を適正に調整し、安定的な出荷を促進するため、ホクレンを事業実施者として「需要啓発事業」、「需給調整事業」、「馬鈴しょ・玉ねぎの安定出荷事業」を実施するための交付金を交付する事業となります。

本年度の交付額は 11 億 86 百万円（前年比 113%）となっています。

（単位：円）

事業区分	月	期首保有額	資金受入額	交付額	資金保有額
需要啓発等	4月～ 翌3月	143,769,495	109,421,764	117,304,710	135,886,549
需給調整等		293,139,747	44,221,844	18,837,001	447,631,245
振替			129,106,655		
安定出荷		933,645,045	1,030,861,157	1,050,243,654	785,155,893
振替				129,106,655	
計		1,370,554,287	1,313,611,420	1,315,492,020	1,368,673,687
合 計（振替除く）			1,184,504,765	1,186,385,365	1,368,673,687

② 果実関係

ア 果樹経営支援対策事業（整備事業）

中央果実協会（事業主体者）から交付決定承認を得ている当年度事業完了分（4年度、5年度）について、21haの園地整備を行い、57百万円（前年比66%）の補助を行っています。

対象産地は、12産地（七飯町・壮瞥町・ニセコ町、仁木町・余市町・増毛町、岩見沢市・三笠市・浦臼町、深川市・南渡島・十勝広域）で、優良品目・品種への改植、新植及び傾斜緩和等の小規模園地整備を実施しています。

単位：千円、%

	5年度 A	4年度 B	3年度 C	対比	
				A/B	A/C
事業費	(59,795) 60,220	(93,820) 103,558	(97,970) 101,978	(64) 58	(61) 59
補助金	(57,731) 57,477	(85,705) 87,145	(88,774) 92,587	(67) 66	(65) 62

※（ ）内は事業計画

イ 果樹未収益期間支援事業

整備事業と同じく幼木苗木の植栽を実施した 19ha（前年比 67%）の園地について、未収益期間の経費助成として、41 百万円（前年比 66%）の補助を行っています。

これまで増加傾向であった“醸造用ぶどう”は、当初の予定面積を終了したことから、助成額は前年比で 3 割程減少しています。

単位：千円、%

	5 年度 A	4 年度 B	3 年度 C	対比	
				A/B	A/C
事業費	(42,669) 42,146	(61,930) 62,594	(63,960) 66,684	(69) 67	(67) 63
補助金	(41,211) 40,575	(60,210) 61,021	(60,480) 63,298	(68) 66	(68) 64

※（ ）内は事業計画

ウ 果樹関係事業総額（整備事業＋未収益期間）

単位：千円、%

	5 年度 A	4 年度 B	3 年度 C	対比	
				A/B	A/C
事業費	(102,464) 102,366	(155,750) 166,152	(161,930) 168,662	(66) 62	(63) 61
補助金	(98,942) 98,052	(145,915) 148,166	(149,254) 155,885	(68) 66	(66) 63

※（ ）内は事業計画

③ その他

ア 大規模契約栽培産地育成強化支援事業

平成 29 年度以降に採択された 21 件について、当該事業の関係書類（成果報告書、実施状況報告書、実施計画の軽微変更等）の提出を行っています。

また、令和 5 年度事業の公募については、道・JA グループ等に応募の周知を行った結果、3 団体から応募があり 2 団体（内 JA 1 団体）が採択されています。

イ 全国果樹技術・経営コンクール

道内の主要な農業関係組織に募集を依頼したものの、該当者の推薦はありませんでした。

[参考]

1. 大規模契約栽培産地育成強化支援事業の概要（北海道分）

事業区分	採択年度	事業実施者	事業対象		補助金 (百万円) (@15万円/10a)	品目
			面積 (ha)	参加者 (人)		
加工・業務用野菜生産基盤強化推進事業	29	1	174	56	261	スイートコーン
	30	8	260	121	390	かぼちゃ、キャベツ、スイートコーン、ニンジン、さやいんげん
	元	4	180	161	345	かぼちゃ、スイートコーン、さやいんげん、えだまめ
端境期等対策産地育成強化推進事業	2	4	191	140	286	かぼちゃ、キャベツ、えだまめ
	3	2	100	39	149	だいこん、生食用かぼちゃ
大規模契約栽培産地育成強化推進事業	4	0	0	0	0	(採択なし)
	5	2	100	34	150	スイートコーン、かぼちゃ
合計		21	1,005	551	1,581	

(注1) 網掛け年度（H29、H30、R2）は当年度事業終了。

(注2) ()はR4年度の応募実績。

2. 全国果樹技術・経営コンクールの道内農業者の受賞状況

(平成11年～令和5年)

受賞内容	受賞回数	市町村
農林水産大臣賞	3	芦別市、浦臼町、壮瞥町
農林水産省生産局長賞	2	増毛町、壮瞥町
全国農業協同組合中央会会長賞	4	余市町(2)、深川市、増毛町
全農経営管理委員会会長賞	1	仁木町
全国果樹研究連合会会長賞	4	深川市、余市町、仁木町、厚真町
公益財団法人中央果実協会理事長賞	3	札幌市、長沼町、砂川市
計	17	